

普及職員（農業） A

〔例題1〕 土壌の構造に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 土壌を構成する固体，液体，気体の三つの相の体積比率の分布を三相分布といい，一般に，有機物の多い土壌は少ない土壌に比べて固相率が高い。
- イ. 土性とは，粒径分布によって分類される土壌の名称であり，砂，シルト，粘土の重量割合から決定される。
- ウ. 土壌水は保水様式によって重力水，毛管水，膨潤水，吸湿水に分けられる。これらのうち植物が吸収可能な水は重力水，毛管水，膨潤水である。
- エ. 土壌の団粒構造が発達すると，保水性，透水性，通気性，根の伸張性が高まり，植物にとって好ましい生育環境がつくられる。

- 1. ア，イ
- 2. ア，エ
- 3. イ，ウ
- 4. イ，エ
- 5. ウ，エ

【正答4】

普及職員（農業） A

〔例題 2〕 乳熱に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 高産次の牛に比べて初産次の牛で発症することが多い。
2. 分娩直後よりも、泌乳最盛期に発症することが多い。
3. 反芻胃内に蓄積した乳酸が血中に移行して食欲不振となるのが主な症状であり、重篤な場合は死亡することがある。
4. 発症の主な要因は、泌乳開始時におけるカルシウムの吸収と排出のバランスが著しく崩れることにある。
5. 一般に行われている予防法は、分娩後に複数回、ビタミンD剤を注射することである。

【正答 4】